

合渡

校区通学路安全対策 ワークショップ



第2回
ワーク
ショップを
開催 (7/30)

合 渡校区で第2回通学路安全対策ワークショップを開催

第2回通学路安全対策ワークショップ



令和7年7月30日（水）の午後7時00分より、合渡公民館において第2回通学路安全対策ワークショップを開催しました。参加者は、PTA、子ども会育成会、交通安全協会、見守り隊、自治会などの方々です。

ワークショップに先立ち説明会を実施し、参加者の皆さまには、事前に危険箇所を聞き取りするなどの準備をいただくと共に、合渡小学校からは児童からの危険箇所の意見をいただきました。

「危険箇所の見える化」地図

車両走行データ、交通事故統計データ、
事故発生リスク評価を重ね合わせた
「危険箇所の見える化」地図をご覧ください
様々な立場の参加者の皆さまから、
通学路の危険箇所について積極的に発言いただき
活発な話し合いが行われました。



▲「危険箇所の見える化」地図

▼ Aテーブルでの話し合い



▲ Bテーブルでの話し合い

通学路の安全対策の検討

通学路の安全対策について、
様々なハード・ソフト対策の事例を
参考に具体的な対策案を検討して
いただきました。



▲ Cテーブルでの話し合い

通学路安全対策ワークショップの様子

説明会

5/28に
第1回ワーク
ショップで、
説明会を開催
しました。

雰囲気

チームワークが
よく、充実した
ワークショップと
なりました。

意見交換

皆さん
積極的に活発な
意見交換を
しました。

DX

モニターや
タブレットを
使用しDXを
推進

共有

各テーブルの
危険箇所を
発表して
参加者全員で
共有



第37回全国健康福祉祭ぎふ大会

ねんりんピック岐阜2025

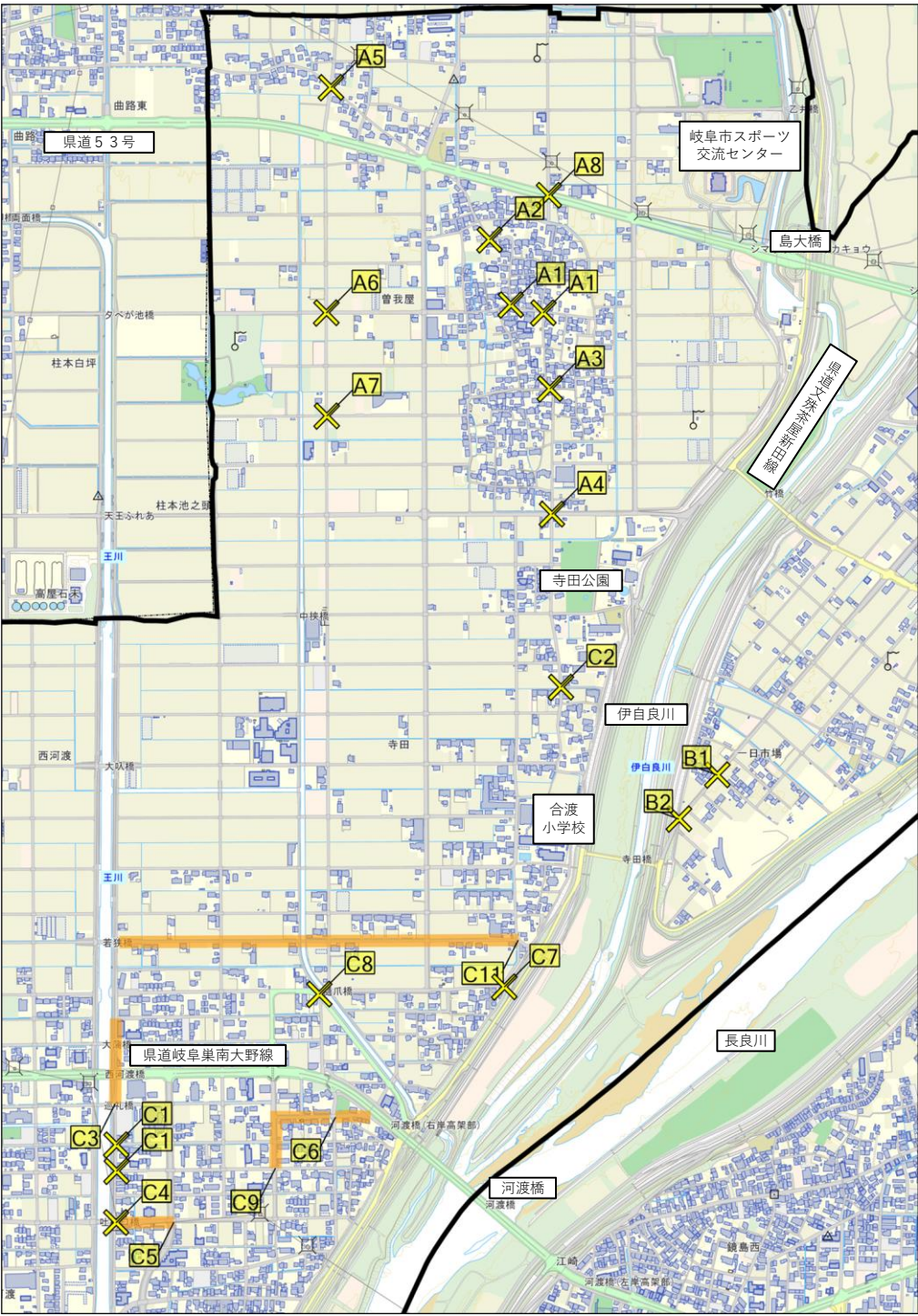
清流に 輝け ひろがれ 長寿の輪

2025年10月18日(土)～21日(火)

ワークショップで挙げられた通学路危険箇所（合渡校区）

A～Cテーブルで挙げられた危険箇所

箇所	危険要因
A1	抜け道になっており交通量が多いが、道が狭く、カーブで見通しが悪い
A2	通学路看板が高い位置にあり、車から見えにくい、通学路であると気が付きにくい
A3	石垣があり交差点の見通しが悪い
A4	横断歩道東側の停止線で止まる車が、南北道路の妨げになり、交差点が混雑する 横断歩道で子どもと自転車の中学生が交錯、信号待ちの子どもが待場が狭いため、あふれて危険
A5	停止線があるが薄くなっているため、気が付かない車がいると危険
A6	中学生の自転車がよく走るが、車の交通量が多く、スピードを出す車も多い交差点の優先も分からないため、危険死亡事故があった交差点
A7	中学生の自転車がよく走るが、車の交通量、スピードを出す車が多く、交差点の優先も分からないため、危険
A8	自転車の中学生が南北の道路を慌てて走り、黄色でも横断するため危険
B1	南北をスピードを出す車が多く、東西を横断する子どもが危険
B2	スピードを出して南進する車が多い登校時、子どもが堤防から来る車を見えづらく、横断歩道を渡る際危険
C1	車で東から南北道路に入る際、カーブミラーで片側しか見えず危険
C2	高校生が通学で通るが、街灯がないため、夜が暗くて防犯上危険
C3	下校中に川で遊ぶ子があり危険 橋の下のトンネルを通る車のスピードが速く、道幅が狭いため、子どもと接触しそうで危険
C4	交差点の見通しが悪く、南北を走る車から東西に横断する子どもが見えづらく危険 南北を走る車で交差点で止まらない車がいる
C5	区画線が消えており、子どもが広がって歩くため危険
C6	時間帯通行規制を守らずに侵入してくる車がいる
C7	階段の最初の段差が滑りやすく、転びやすい 冬に凍る
C8	交通量が多いが、横断歩道も信号もなく、タイミングを見計らって子どもが横断している 渋滞時には、車と車の間を渡っており危険
C9	河渡公園からの帰り道、夜道が暗く防犯上危険
C11	区画線が消えているところが多く、子どもがはみ出しやすい 電柱の足元のアスファルトが崩落している 交差点を斜め横断している子があり、スピードを出している東進車が多く危険



次回ワークショップでは、上記の中から優先順位をご検討いただき、対策実施箇所を絞り込みます。

岐阜市基盤整備部道路建設課
☎(058)214-2191